



環びわ湖 大学地域交流フェスタ2015

滋賀で学ぶこと、滋賀で働くこと

日時・場所 2015年12月19日 土 13:00 ~ 17:30
滋賀医科大学 (一般教養棟)・(基礎講義・実習棟)

趣旨・目的

大学と地域との交流を深めることを目的に、大学地域交流フェスタを滋賀医科大学で開催します。地域と大学が学生の育ちを支援する同大学の取り組みに学びながら、学生の滋賀への関心を高め、地域とのつながりを深めていくことについて考えます。

また、地域の課題解決に大学と地域が連携して取り組んでいる「大学地域連携課題解決支援事業」と「学生支援事業」、20プロジェクトの活動報告会を行います。

プログラム

1. 開会 (13:00) オープニング&学生が制作した滋賀県観光ポスターの紹介
2. 基調講演 (13:15)

たおだ かずし

講師 埜田 和史 氏

演題 「県民とともに滋賀の医療の担い手を育てる、滋賀医大の取り組み」

[講師プロフィール]

滋賀医科大学社会医学講座衛生学部門准教授。里親支援室長として取り組む「里親支援事業」は、将来、滋賀県で医療活動を行うことを希望する学生を地域の医療関係者や地域住民の方々との協力を得て応援しようとするもの。学生とともに、滋賀県の医療、医師不足問題に正面から取り組んでいる。滋賀医大の3期生、岡山出身ではあるが滋賀県での生活が四半世紀を超える。

3. 活動報告会 (14:10 ~ 16:35)

発表予定プロジェクト (※タイトルは一部抜粋を含む)

第1会場 (第2講義室) 【地域交流】

学生の視点を活かした滋賀の魅力発見と県内外への情報発信(学生支援事業・湖南)/草津市琵琶湖側の農業従事者と学生との交流事業/高島市マキノ地域における集落活性化事業/科学的知見と漁業者のローカル知の融合/長浜市北部地域における地域資源の再発見と魅力発信/守山市民参加と協働による骨太の地域づくり参画プログラム/科学(Science)を通じた地域交流

第2会場 (第3講義室) 【調査研究】

草津市内に残る歴史的建造物の実態調査/大津の特色を生かした地産地消推進モデルの構築/休耕田の有効活用のための園芸作物・畑作物栽培の可能性検討/学生が滋賀の幅広い魅力に気づき、帰属意識を高める仕組みづくり(学生支援事業・湖西)/忍者を核とした地域資源と魅力の発掘/持続可能な林業振興と健全な森林整備/琵琶湖の流木を利用した食農教育教材の開発

第3会場 (第4講義室) 【教育普及】

「ちょっとバス」の利用率向上に向けて/市民を交えた彦根市独自の環境マネジメントシステム(EMS)の構築/身近な科学のおもしろさを体験させる/びわ湖大津の魅力発信!ステキな動画製作事業/「カミッシュ」づくりと啓蒙活動/学生が卒業後も滋賀に住み続けたいと思ってもらうためのアイデア(学生支援事業・湖東)

4. 学内見学会「メディカルミュージアム」(16:35 ~ 17:20)

案内者: 滋賀医科大学解剖学講座神経形態学部門 相見良成 准教授

※希望者のみ (定員 50名)

5. 活動奨励賞発表、閉会 (17:30)

主催 一般社団法人環びわ湖大学・地域コンソーシアム

〒520-0056 大津市末広町1-1 日本生命大津ビル4階

TEL: 077-526-8850 FAX: 077-526-8851

e-mail: info@kanbiwa.jp HP: http://www.kanbiwa.jp/



※お越しの際には、公共交通機関をご利用下さい。